

「保護者のみなさん一緒に考えてください」その1

早いもので、2学期がスタートして2週間が過ぎました。新型コロナウイルスの感染拡大が心配ではありますが、感染予防策を強化しながら、1学期以上に子どもたちの輝く場面を増やしていきたいと考えております。今後もこれまでと変わらずご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



今回、『「保護者のみなさん一緒に考えてください」その1』と題しまして、ホームページに、保護者の皆様にも一緒に考えていただきたいことをあげさせていただきました。先ほど書きましたように、子どもたちの輝く場面を増やすには、保護者の皆様のご協力をいただかなければ難しいと考えています。もちろん私たち教職員が精一杯頑張ることが前提です。そのうえで、保護者の方にも力を貸していただき、手を携えて進めていくことができれば、可能性に満ちた吉中生をなお一層輝かせることができると強く思っています。これから、学校だよりだけでなく、ホームページにも学校の考え、校長としての私の思いなどを積極的に載せていきます。ぜひお読みいただき、一緒に考えていただければ幸いです。そして、PTAの活動や参観などで学校にお越しの際や、お電話やお手紙などなんでも結構ですので、お読みいただいた感想やご意見などをいただけますとたいへんうれしいです。保護者の皆様とそのようなキャッチボールをしていくのが理想です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回みなさんに聞いていただき、一緒に考えていただきたいこと。それは「子どもたちの自尊感情や自己有用感をいかに高めるか」です。私は本校における一番の課題であると考えています。

次に2つのデータを示します。



① 学校生活アンケート（1学期末実施）より

「自分が役に立っている」 肯定的回答 59%(全校)

(肯定的回答＝「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」の計)

※参考 「学校が楽しい」 肯定的回答 91%

「みんなと何かをするのが楽しい」 肯定的回答 93%



② 全国学力学習状況調査より（今年度5月実施）

「自分にはよいところがある」肯定的回答 60.9%(3年生)

※参考 大阪府全体 肯定的回答 72.5% 全国 肯定的回答 76.2%

①の結果は以前の学校だよりでもお知らせしました。今回、より注目すべきは②の全国学力学習状況調査での生徒質問紙調査の結果です（この調査における学力的な分析結果は11月に保護者の皆様にも配布する予定です）。9月当初に結果が戻ってきたときに、この質問の結果が気になりすぐに目をやりました。予想以上に低い結果にショックを受けたとともに、「やっぱりか」という気持ちになりました。そして、肯定的回答をもう少し掘り下げてみてみました。「あてはまる」と答えた割合だけにしぼって見てみると、次のような結果でした。

「自分にはよいところがある」「あてはまる」と回答 18.5%(3年生)

※参考 大阪府全体 「あてはまる」 32.3% 全国 「あてはまる」 34.5%

全国も大阪府も30%を超えているのに、本校は20%にも達しませんでした。この調査は3年生に対してのものでしたが、先に示した学校でのアンケート結果や普段の学校生活での様子など見ていても、1、2年生も3年生と同じような傾向にあると思います。

ますます気になって過去3年間ほどの本校の全国学力学習状況調査の結果も見ましたが（昨年度は実施していません）。多少の差はあるものの、おおむね同じような結果でした。なぜ、毎年このような結果になるのでしょうか。



今回の「その1」では、保護者の皆様はこの現状をお伝えし、恐縮ですが問題提起をさせていただいたところで終えたいと思います。「自分にはよいところがある」の回答だけをもって、「自尊心」や「自己有用感」をはかれるものではありませんが、この結果は注視しなければならないと思っています。



この結果のもう少し突っ込んだ分析や、課題克服に向けての考えや今後の方策等については、次の「その2」から示していきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。